

# 平成30年度香川県ソフトテニス連盟定期総会議事録

平成31年3月3日（日）高松テルサ 301・302 会議室 9:30～11:30

## ◇◇黙禱◇◇

平成30年12月18日にご逝去された乾 篤之会長の冥福を祈り、参加者全員で黙禱を行った。合わせて、会長代行として真鍋健史副会長が今後会長を代行することを報告した。

## ◇◇表彰式◇◇

定期総会議事に入る前に恒例の表彰式を行った。支部功労者表彰（1名）、優良団体表彰（1団体）、香川県ソフトテニス連盟会長表彰（45名）を行った。

## ◇◇開会◇◇

本日は所用により、真鍋副会長が出席できなかったため、多田副会長が会長代行することを報告。定刻の10時00分に開会し、多田副会長から挨拶と総会のスムーズな進行についてお願いがあった。

## ◇◇議事◇◇

事務局から現状（代議員出席者数28名（代理出席者含む）、委任状提出者5名）を説明し、連盟規約第25条（総会成立条件：代議員（36名）の過半数（委任状含む）の出席）により、本会が成立していることを報告した。

今回は多田副会長が議長を務めることで承認いただき、議長はまず議事録署名人として、「善通寺フレンドクラブ 大西敏光氏」、「Team IGA 中尾美由貴氏」を指名して議事に入った。

## ◇報告事項①◇

### （1）全国評議員会、西日本代議員会、四国連盟役員会報告（安藤理事長）

始めに、安藤理事長より以下について報告をした。

#### 〔全国評議員会（日本ソフトテニス連盟）〕

- 全日本シニアについて、45歳以上の部を全日本社会人へ移行した。これにより平成30年度の混合（ミックス）45歳以上は中止とした。
- 新しくシューズの公認メーカーとして、「DMR（ディアドラ）」を承認した。
- ユニフォーム着用基準が改定され、「襟なしシャツ」（Tシャツ以外）ならびに「ロングスパッツ（レギンス）」の着用を認めることとした。
- 5月に開催される「世界選手権大会予選会」について、従来は技術等級「EX」を取得していれば誰でも参加できたが、今回は平成30年度大会において「EX」を取得する成績を収めた方のみ参加できるように変更した。
- 全日本選手権大会の参加資格について、今までは参加資格を得たペアでなければ参加が認められなかったが、異なるペアであっても「たすき掛け方式」で、両名が参加資格を持っていれば参加を認めることとした。
- 全日本社会人選手権大会について、今年度から45歳以上の部を新設したが参加ペア数を制限していなかった。来年度からは35歳以上と同数の参加ペア数とする。

- シニア45歳の技術等級は、「シニアEX」または「シニアSP」という名称であったが、次年度以降資格を取得された場合、一般などと同様に「EX」「SP」とする。  
(現行資格の移行はない。)
- 来年度の日本連盟主催大会においては、すべて開会式10日前に日本連盟HPに「番組表」を公開することとした。当該運用に合わせて「選手変更」の取扱いを変更する。従来は、大会当日に「選手変更届」提出で選手変更を認めていたが、あまりにも選手変更が多く、大会運営に支障が出るがあったため、番組表公開までの選手変更のみ認める運用とした。なお、万が一大会実施日までにケガ・病気などにより参加できなくなった場合、医師の診断書など証明書類と一緒に「選手変更届」を提出することにより、当日変更も可能とする。
- 2020年度から「全日本ミックス選手権大会」を新設することで検討している。開催時期は6月上旬から中旬となる。当該大会開催により、一般から80歳以上の部まで、すべての種別においてミックス選手権大会が開催されることとなる。
- 来年度の国体参加数は、成年女子が「参加24枠」となり、四国ブロックからは「2県」出場できる。成年男子が4県、少年男子が2県、少年女子が1県という参加枠になる。
- 2019年4月1日から「スリクソン」のブランド名が変更となり、「ダンロップ」となる。このため、「ボール」ならびに「ラケット」も「スリクソン」の「S」ロゴ表記から「ダンロップ」の「D」ロゴ表記となる。
- 日本ソフトテニス連盟HPに掲載している「ソフトテニスマナーBOOK」について、抜粋版を作成しているので、プログラムに掲載するなど活用いただきたい。

#### [西日本代議員会（西日本連盟関係）]

- 西日本シニア（シニア50歳以上）：奈良県（6月22日・23日）
- 西日本選手権：大阪府（一般・35歳・45歳）（7月20日・21日）
- 西日本小学生：静岡県（10月12日・13日）
- 1級審判検定会について、今年度は鹿児島で開催したが、香川県からも2名が受講した。次年度以降、国体を開催する県を優先して実施していくこととなり、来年は「三重県」開催となる。2020年度は大阪府で予定していたが、愛媛県で数年後にマスターズ・インターハイ開催を控えており、現在のところ2020年は愛媛県開催とする方向性で合意している。2021年は佐賀県、2022年は大阪府開催という予定で調整している。現在、1級審判資格取得者が少ない中、ぜひ高体連において愛媛県で新規受講をお願いしたい。
- 来年度、西日本選手権は大阪で開催するが、日本で一番単価の高いコートを使用するため、西日本連盟から若干特別支援することとなった。
- 西日本連盟の理事長が広島県「木原理事長」へ変更となる。ただし、事務局は「京都府」に残ることとなる。また、会長も「安道光二」会長が続投する。

#### [四国連盟役員会（四国連盟関係）]

- 次年度から参加資格に年齢制限が撤廃され、中学生でも参加できることとなった。
- 四国団体対抗戦は、一般について「大学生以上」という参加条件が明記される。

○四国シングルス選手権大会は、高校の試験期間と重複しているため、日程変更について検討することとしており、決定次第連絡する。

**(2) 平成30年度事業報告 (木下理事)**

木下理事 (総務部長) より、平成30年度実施大会について報告を行った。

**(3) 平成30年度収支決算報告 (丸副理事長)**

丸副理事長 (会計担当) より、平成30年度収支決算について報告を行った。

(決算額 : 8,694,578 円)

**(4) 会計監査報告 (末本監事)**

末本理事 (監査担当) より、平成30年度会計について監査を実施し、適正に処理されていることの報告を行った。

第2号議案から第4号議案を一括審議し、全員賛成で了承を得た。

◇議決事項◇

**(5) 2019年度事業計画 (案) (木下理事)**

木下理事 (総務部長) より、2019年度事業計画 (案) を提示のうえ説明を行い、賛成多数で承認を得た。

**(6) 2019年度収支予算 (案) (丸副理事長)**

丸副理事長 (会計担当) より、2019年度収支予算 (案) を提示のうえ説明を行い、賛成多数で承認を得た。(予算額 : 8,800,283 円)

**(7) 2019年度大会実施要項 (案) (木下理事)**

木下理事 (総務部長) より、2019年度大会実施要項について、共通参加条件の変更、例年と内容が変更となっている大会について説明を行い、賛成多数で承認を得た。

○質問① : 垣石クラブ 大関代議員

大会参加費を値上げしてまで全日本選手権大会を誘致する意義はあるのか?

⇒意義はない。日本連盟主催大会は各地区持ち回りで、四国では唯一香川県で開催していない状況の中、順番的に香川県で開催しなければならないという結論である。(安藤理事長)

○質問② : 丸亀市役所 中川代議員

大会参加料について、会員登録をしていない場合、1.5倍の参加料になると記載されているが、これは「500円」の準備積立金を含んだものか?

⇒大会参加料のみの1.5倍として取り扱っていただきたい。(安藤理事長)

○質問③ : 小学生連盟 小西代議員

4月に開催している国体予選 (少年の部) について、中学生が参加できないこととなっている。その背景として、当該大会が高校総体の番組編成ポイント対象大会となっているため中学生の参加が難しい旨回答いただいたが、来年度は有望な中学生がいることから、参加できるようにならないか? (そもそも、国体予選会が高校総体の番組編成ポイント対象大会としていることに問題がある)

⇒現段階では難しいと言わざるを得ない。しかし、国体予選への中学生参加を拒むものではないため、ご理解いただきたい。検討の上、後日回答する。(富田理事)

**(8) 香川県ソフトテニス連盟規約(案)(木下理事)**

木下理事(総務部長)より、香川県ソフトテニス連盟規約改正(案)について説明を行い、賛成多数で承認を得た。(香川県体育協会→香川県スポーツ協会への変更のみ)

**(9) 香川県ソフトテニス連盟表彰規定(案)(木下理事)**

木下理事(総務部長)より、香川県ソフトテニス連盟表彰規定改正(案)について説明を行い、賛成多数で承認を得た。(表彰規定の厳格化)

**◇報告事項②◇**

**(10) 各部会報告(①総務部会 ②競技部会 ③審判部会 ④強化部会 ⑤普及部会)**

**①総務部会(木下部長)**

・2020年:西日本シニア、2024年:全日本選手権大会と初誘致となる大きな大会が続くことになるが、財政面や運営・審判など多くの方々にご協力をお願いしたい。

**②競技部会(荒井部長)**

・来年度も多くの方に試合に参加していただけるよう依頼。

**③審判部会:(新開部長不在のため木下総務部長が代理報告)**

・2019年度は香川県で1級審判研修会が実施されるため、ぜひ有資格者は参加いただきたい。

・2020年度には愛媛県で1級審判検定会が行われるため、ぜひ多くの方に参加いただきたい。昨年より資格取得推進施策として、1級審判資格取得者には補助(1万円)をしているので活用いただきたい。

**④強化部会(松口部長)**

・平成30年度は全種別が本国体に参加できた。本戦では少年男子が6位入賞と頑張ってくれた。成年種別は近年、ほとんど学生主体となっており、選手層も厳しい状況の中、久しぶりに学生以外の一般選手が本戦に出場した。今後も強化について協力をお願いしたい。

**⑤普及部会(富田部長)**

・県連ホームページの充実(各クラブ紹介・各団体ホームページへのリンク)について更なる協力をお願いしたい。

・技術等級の申請については、ホームページに詳細な申請方法を掲載しているので、こちらも活用をお願いしたい。

**(10) その他(木下理事・安藤理事長)**

**①代議員の確認(特に変更はなかった)**

**②指導員の資格取得について、補助金もあるのでぜひ資格取得を目指してほしい。現在のところは県外で資格取得しなければならないが、近年中に香川県内で指導員資格取得ができるよう検討していくこととしている。**

**③林副会長より任期途中であるものの辞任の意向があり、理事会で承認した。**

⇒全体を通して意見を求めたところ、田万顧問から以下の経過報告があった。

・現在、丸亀市総合運動公園においてテニスコートの増設について関係団体の協力を得て陳情をしている状況である。多田副会長(丸亀市議会議員)にも尽力いただき、なんとか香川県のテニス拠点増設をできればと思うので、皆さんも協力をお願いしたい。

(多田副会長：議長解任挨拶)

上記にて議案はすべて終了した。スムーズな審議に感謝を述べ、議長解任の報告をした。

(閉会挨拶：安藤理事長)

私事ではあるが、昨年6月から日本連盟の競技委員長を拝命し、日本連盟主催大会にはほとんど参加している関係上、県内大会では不在になりがちになり申し訳ない。

来年度も皆様にはお世話になるが、よろしくお願ひしたい。

以 上

平成31年3月3日(日)に高松テルサで開催された「平成30年度香川県ソフトテニス連盟定期総会」について、上記議事録のとおりであることを確認しました。

平成31年 4 月 5日

議事録署名人 善通寺フレンドクラブ代議員

大西 敏光



議事録署名人 Team IGA 代議員

中尾 美由貴

